

施工説明書 (hidroセラ・フロアJ取付け工事店様向け)

TOTO hidroセラ・フロアJ

AGF3** / AGF4**

商品の機能が十分発揮されるように、本説明書の内容を十分ご理解のうえ、正しく施工してください。

安全に関するご注意

■安全のために必ずお守りください。

本施工説明書では「警告」「注意」を、下のような定義で使用しています。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

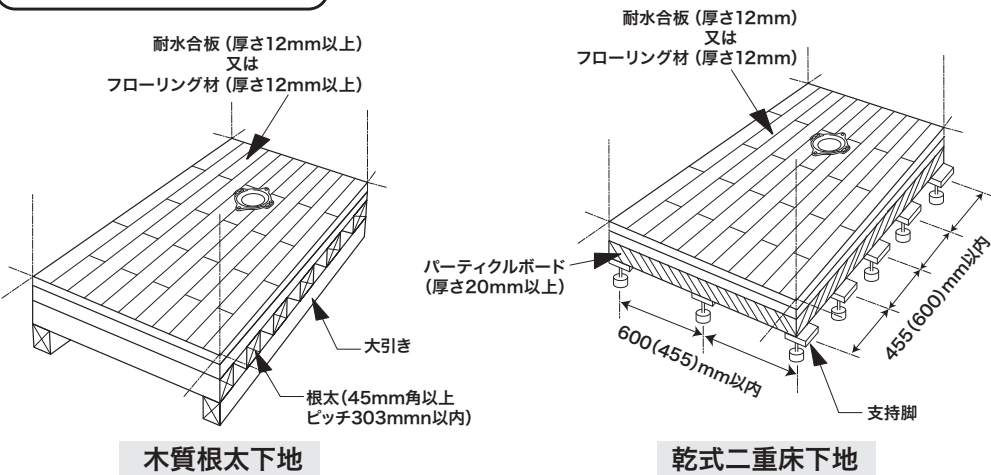
- ・工具使用の際は、保護具を着用し、工具の取扱い説明書に従って、安全に使用すること。

注意

- ・ hidroセラ・フロアJに、衝撃を与えないこと。
(破損してケガする恐れがあります。施工後は、表面を養生してください。)
- ・ hidroセラ・フロアJの外周部は、鋭利になっているので、施工中の取扱いに注意すること。
(ケガをする恐れがあります。)
- ・ hidroセラ・フロアJは、セラミックなので、運搬などの施工中の取扱いに注意すること。
(破損してケガする恐れがあります。)
- ・ hidroセラ・フロアJとフローリングなどの他部材との取り付け部の段差をなくすこと。
(つまずきやひっかかりで、ケガをする恐れがあります。)
- ・ hidroセラ・フロアJにワックスをかけないこと。
(滑りやすく危険です。)

古紙 100%リサイクル紙と植物性大豆インキを使用しています

リモデル便器の場合



■ 上張り施工可能な下地

- ・ **45mm角以上、303mmピッチ以内の根太が組んであり、12mm厚以上の耐水合板またはフローリングを取り付けた木質根太下地**
(不陸は5mm/m以内、段差は1mm以内であること)
- ・ **乾式二重床の上に耐水合板(12mm厚以上) もしくはフローリング(12mm厚以上)を取り付けた下地**
(乾式二重床には長手600mm間隔以内、短手455mm間隔以内で設置された支持脚上部に20mm厚以上のパーティクルボードが取り付けられていること。不陸は5mm/m以内、段差は1mm以内とする。)

■ 条件付で上張り施工可能な床仕上げ材

- ・ **フローリング(12mm厚以下)**
フローリングと耐水合板を合わせて12mm厚以上であれば可能
- ・ **クッションフロア**
必ず、はがしてから施工して下さい。はがした後は、耐水合板表面を清掃し、不陸、段差を無くして下さい。

■ 上張り施工できない床仕上げ材

- ・ **タイル**
不陸が大きく、水平でないため

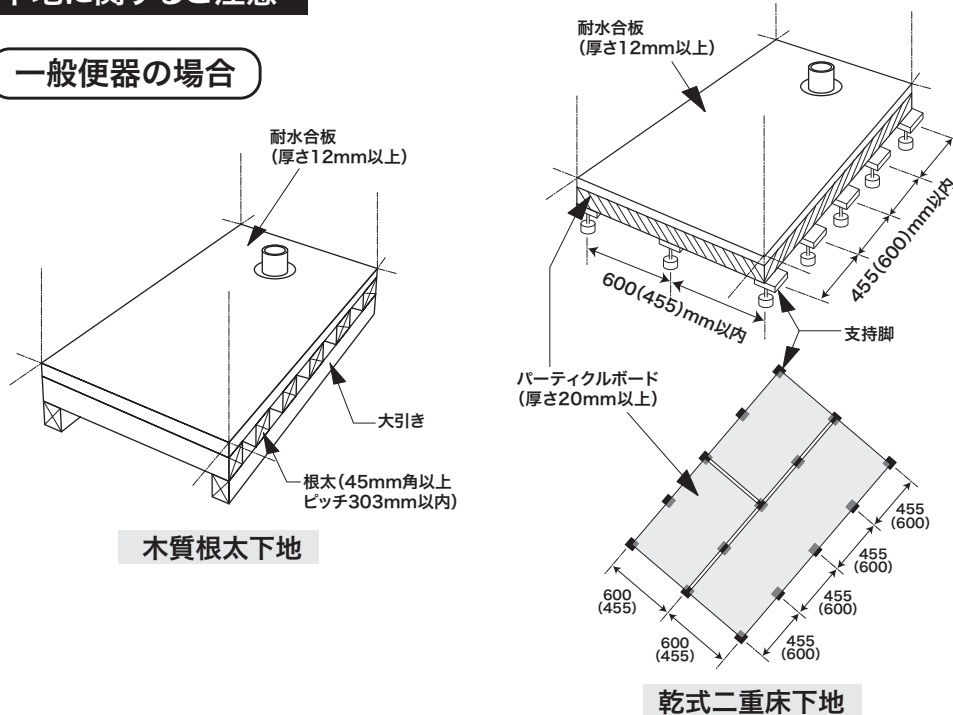
一般便器・リモデル便器 共通

- ・ 下地の腐食がないことを確認してください。
- ・ 下地は分割せず、1枚物で施工してください。
- ・ 下地のゴミ、ほこり、はがし残りなどをきれいに取り除いていることを確認してください。
- ・ 下地面が、ドア枠や廊下のFL面から12mm以上、下がっていることを確認してください。
- ・ 下地面は目視による異常(割れ、亀裂、陥没、腐朽など)がなく、歩行時にきしみ音またはがたつきがないことを確認して下さい。

施工前の注意事項

下地に関するご注意

一般便器の場合



■ 施工可能な下地

- ・ **45mm角以上、303mmピッチ以内の根太が組んであり、12mm厚以上の耐水合板を取り付けた木質根太下地**
(不陸は5mm/m以内、段差は1mm以内であること)
- ・ **長手600mm間隔以内、短手455mm間隔以内で設置された支持脚上部に20mm厚以上のパーティクルボード、12mm厚以上の耐水合板を取り付けた乾式二重床下地**
(不陸は5mm/m以内、段差は1mm以内であること)

■ 施工できない下地

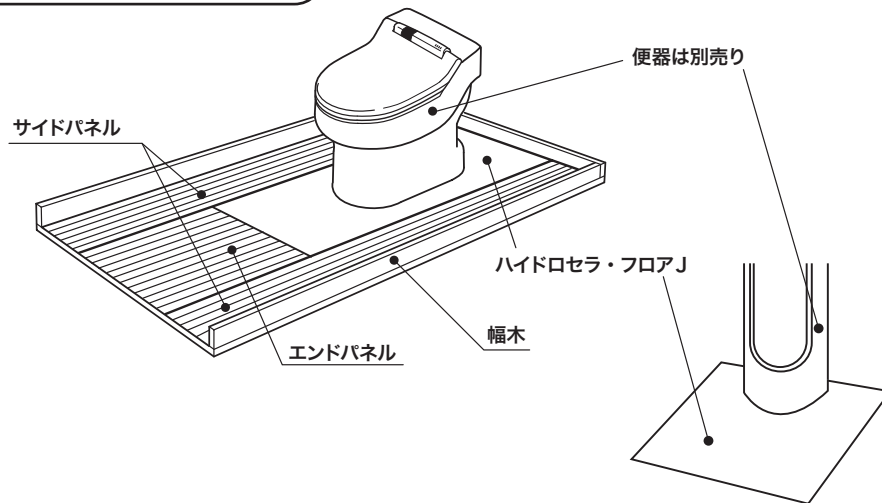
- ・ **コンクリート**
裏面に結露が発生し、下地が腐食、変形して製品に破損の恐れがあるため(そのままでは施工できないため、上記の施工可能な下地を作製した後、施工して下さい。)
- ・ **床暖房の床**
加熱に伴う下地の変形の可能性があるため
- ・ **剛床工法**
下地のたわみにより、製品に破損の恐れがあるため

施工に関するご注意

注意

- **hidroセラ・フロアJは、切断しないこと。**
- ・ 割れ、欠けが発生する恐れがあります。
- ・ 必要寸条件があります。
短辺※1=603~903mm
※1 903mm以上の場合は追加用フローリング使用、壁との取り付けを3mm程度あけてください。
長辺※2=AGF3** 1053~1953mm以内 AGF4** 1503~2403mm以内
便器がレストパルFの場合 AGF302: 1420~1953mm以内
AGF332: 1206~1803mm以内※3
AGF402: 1870~2403mm以内
※2 1821mm以上の場合は追加用フローリング使用、壁との取り付けを3mm程度あけてください。
※3 床排水(排水心200mm)の場合は、最小寸法は1270mmとなります。
- AGF300/400/311は必ず、排水管を立ち上げ直し、フランジを新設すること。
- ・ 新設しない場合、漏水する恐れがあります。
- ・ 既設フランジは使用できません。
- ・ AGF300/302/332/400/402/311/312以外の、AGF3**/4**は、リモデル便器専用です。排水アジャスタを使用し、そのまま既設フランジを使用できます。
- 排水アジャスタとフランジ用嵩上げ部材は、塩ビ用接着剤で確実に接着すること。
- ・ 接着が不十分だと、漏水する恐れがあります。(AGF300/302/332/400/402/311/312以外の、AGF3**/4**)
- ・ 施工作業をスムーズに行なうため、紙巻器などの既設器具、巾木などは、取り除くこと。
- 施工中は、セラミックパネル表面に傷や金属痕が付かないよう養生を行うこと。

施工完成図



施工に必要な道具

下図を参照して確認してください。

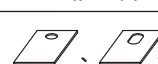

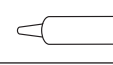
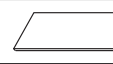


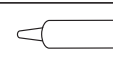



<p>切断 (フローリング、幅木用) 注意! セラミックパネルは切断しないこと</p> <p>集塵機能付丸のこ、木工用チップソー、切断作業台、手のこ、卓上丸のこ、クランプ、ガイド</p> 	<p>穴加工</p> <p>電動ドリル、自在ホールソー (木用)、ダイヤモンドホールソー (セラミックパネル用) ※1</p> 
<p>接着、シール</p> <p>コーキングガン、コーキングへら、マスキングテープ、カッターナイフ</p> 	<p>施工</p> <p>フィニッシュネイル、エアネイラー、インテリアパール</p> 
<p>墨出し、採寸</p> <p>墨出し器、水準器、スケール、金尺</p> 	<p>仕上げ (フローリング、幅木用)</p> <p>ヤスリ、紙ヤスリ</p> 
<p>フランジ取り付け</p> <p>インパクトドライバー、ドライバー</p> 	<p>安全具</p> <p>集塵機、保護眼鏡、防塵マスク、手袋</p> 
<p>ダイヤモンドホールソー (別売)</p> <p>※床給水管や水抜き栓用の穴加工が必要な場合に使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●品番: AY400 Ø40mm (床給水管用・水抜き栓用の穴加工) ●品番: AY500 Ø50mm (手洗器床排水管用の穴加工) 	

※1セラミックパネル部分に床給水や水抜き穴加工が必要な場合のみ。

5

開梱作業

下表を参照して確認してください。

名称	梱包	部材名称	個数	略 図	備考
ハイドロセラ・フロアJ 梱包数: 3 ※AGF312、332の場合、 便器取付け部材 (小箱) は付属しません。(梱包 数: 2)	①	セラミックパネル	1枚	 など	
		施工説明書 (ハイドロセラ・ フロアJ取付け工事店様向け)	1枚		本書
	②	専用接着剤	1本		
ハイドロセラ・フロアJ フローリングセット (別売り) 梱包数: 2	①	エンドパネル	1枚		
		サイドパネル	2本		
		幅木	3本		
	②	専用接着剤	1本		
追加用フローリング (別売り) 梱包数: 1	①	サイドパネル	2本		
追加用幅木 (別売り) 梱包数: 1	①	幅木	1本		
ダイヤモンドホールソー (別売り) 梱包数: 1	①	ダイヤモンドホールソー φ40mm or φ50mm	1個		

施工の流れ

事前準備

- 既設の器具をとりはずします。
- 床下地の作製、補修を行います。

- 1** ハイドロセラ・フロアJの取付け
- 2** フローリング等の取付け
- 3** 便器の取付け



6

ハイドロセラ・フロアJ取付け工事店様

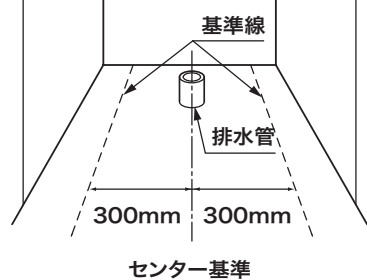
1 ハイドロセラ・フロアJの施工

① 基準線の墨出し

ハイドロセラ・フロアJからのセンター割り付けによる施工となります。

- 排水心を通るセンター基準線を墨だします。
- センター基準線を中心に両サイドに 300mm 離れた位置に基準線を墨だします。

※レストパルフの場合は、間口中心をセンター基準とします。



床給水や寒冷地で水抜き栓がある場合

床給水管や寒冷地の水抜き栓が、ハイドロセラ・フロアJと干渉する場合、下記の方法で施工してください。

TOTO ダイヤモンドホールソー	主な用途
φ40mm (AY400)	給水管 水抜き栓
φ50mm (AY500)	排水管 (手洗器)

- ダイヤモンドホールソー (別売り) を準備します。
- 給水管、水抜き栓の穴芯位置をハイドロセラ・フロアJ上に墨だします。
- ガイドリングを墨だし位置に両面テープで固定します。
- ドリルに装着したダイヤモンドホールソーで穴あけします。

注意

- 回転ドリルを使用すること。(振動ドリルやインパクトドライバーを使用した場合、ハイドロセラ・フロアJが割れることがあります。又、黒い汚れが飛び散ることがあります。)
- 加工時は、棧木などを使用せず、必ず、平らな台の上で加工すること。(割れ、欠けが発生する恐れがあります。)



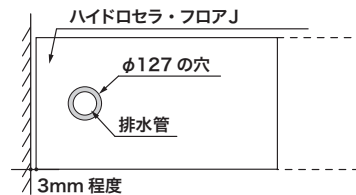
- ハイドロセラ・フロアJの端部を加工する場合、必ずセットするフローリングなどで同厚みにし、平らな面を加工すること。(割れ、欠けが発生する恐れがあります。)



7

② ハイドロセラ・フロアJの仮置き

- ハイドロセラ・フロアJを基準線にあわせ、仮置きし、位置を確認します。



注意

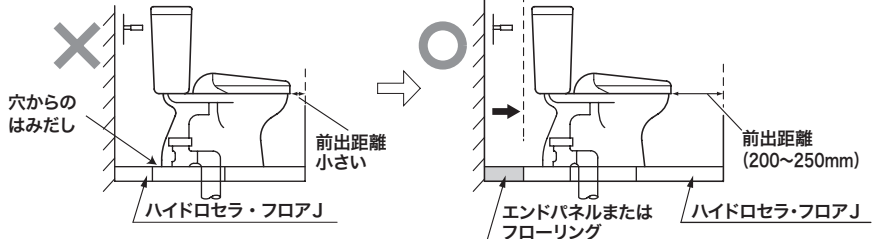
- 施工時は、角当て等に注意すること。ハイドロセラ・フロアJと壁面との隙間を 3mm程度あけること。(角が欠ける場合があります。)

やむを得ず便器を前に出す場合 (止水栓がタンクとぶつかる場合等)

必ず、ハイドロセラ・フロアJも、便器を前に出す寸法だけ、前に出してください。

(前出距離が少なくなり、十分な機能が発揮できません。ハイドロセラ・フロアJの穴が、便器からはみ出す場合があります。)

ハイドロセラ・フロアJと後壁との隙間は専用フローリングセットのエンドパネルまたはフローリングなどで納めてください。



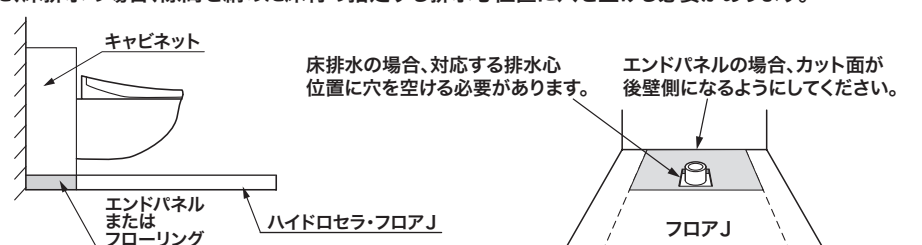
便器がレストパルフの場合

必ずハイドロセラ・フロアJを前に出してください。(床に設置する大便器取付スタンドを避けて、施工する必要があります)。下表の通り、前に出す寸法はキャビネットの奥行き寸法により、異なります。必ず設置する大便器のキャビネット奥行き寸法を確認してください。

便器タイプ	キャビネット奥行き寸法	セラミックを前に出す寸法
床排水 (排水心200mm)	320mm	300mm
壁排水	256mm	240mm
床排水 (排水心135mm)		

ハイドロセラ・フロアJと後壁との隙間は専用フローリングセットのエンドパネルまたはフローリングなどで納めてください。(専用フローリングセットのエンドパネルを使用する場合、カット面が後壁側になるようにしてください。セラミックパネルとのサネ結合ができなくなります。)

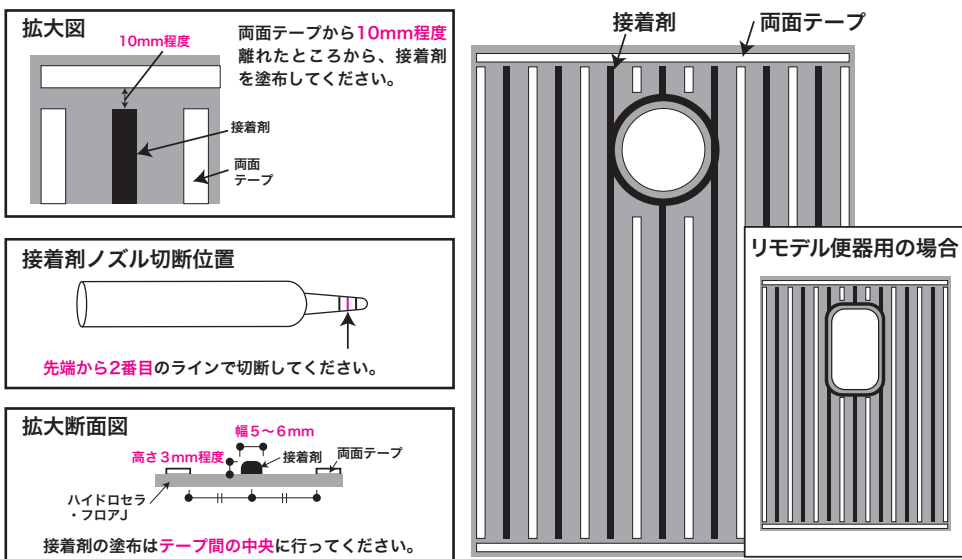
また、床排水の場合、隙間を納めた床材の指定する排水心位置に穴を空ける必要があります。



8

③ 接着

- 1) 接着剤はハイドロセラ・フロアJの裏面に下図のように塗布します。
 - 幅5～6mm、厚み3mm程度で、直線状に7本と穴加工部周囲に塗布してください。
 - 塗布はテープ間の中央に行い、両面テープに寄り過ぎないようにしてください。
 - 塗布量は容器の $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{2}{3}$ (250g～300g)を目安としてください。



注意

- 専用接着剤（付属）を使用すること。（酢ビ系接着剤は使用不可。接着不良を起こす場合があります。）
- 下地に、ごみやほこりが残っていないよう清掃すること。（接着不良の原因となります。）

- 2) 裏面に貼られている両面テープの離型紙を剥がします。
- 3) 左右の基準線に合わせて、軽く置きます。
- 4) 基準線に合っていることを確認して、フロア上部からしっかりと踏み込み、圧着します。

注意

- 貼付け後は浮き防止のため、上部からしっかりと踏み込み（全体を踏み残しなく）、下地に圧着すること。（反りが大きく浮きやすい場合は、接着剤が固まるまで（約半日）、中央部に、重石などを置いて養生してください。）



9

② フローリングの取付け（フローリングセット使用の場合）

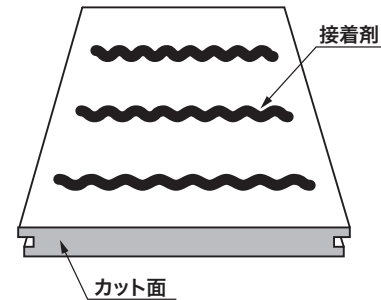
① エンドパネルの施工

- ・トイレに合わせて、長さ方向のみカットします。

注意

- ・幅方向はカットしないこと。（施工ができなくなります。）

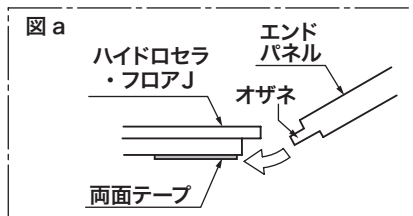
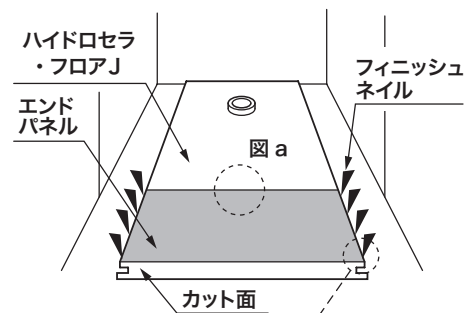
- ・接着剤を塗布します（幅5～6mm、厚み3mm程度）



注意

- ・専用接着剤（付属）を使用すること。（酢ビ系接着剤は使用不可。接着不良を起こす場合があります。）

- ・メザネ下にすべりこませるようにはめ込みます。
- ・継ぎ目に隙間や高低差がないことを確認し、フィニッシュネイルを150mm間隔で打ちしっかりと固定してください。



- 奥壁面にフローリングを取付ける場合、カットした床面材をまわしてください。

注意

- ・ハイドロセラ・フロアJと床面材をしっかりと位置合わせすること。（位置がずれると目隙の原因になります。）

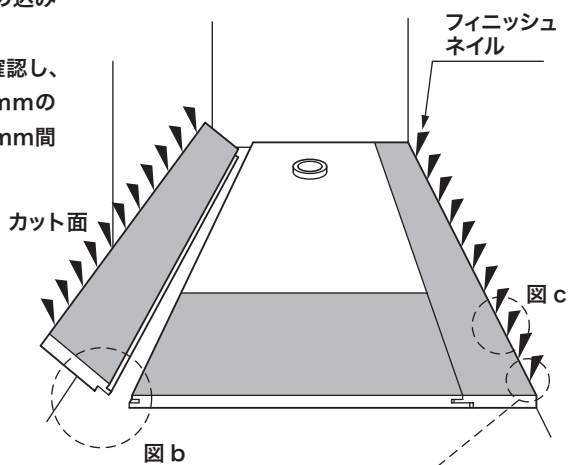
10

② サイドパネルの施工

- ・トイレに合わせてサイドパネルの幅および長さをカットします。
- ・接着剤を塗布します。（幅5～6mm、厚さ3mm程度）
- ・メザネ下にすべりこませるようにはめ込みます。
- ・継ぎ目に隙間や高低差がないことを確認し、サイドパネルの壁面表面の端から5mmの位置に、フィニッシュネイルを150mm間隔で打ち、固定します。

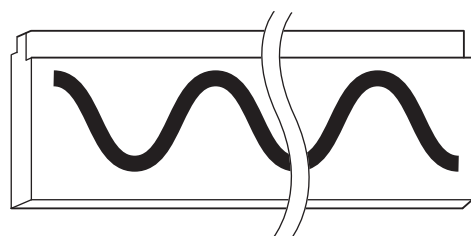
注意

- ・幅カットの際、オザネ側をカットしないこと。（施工ができなくなります。）



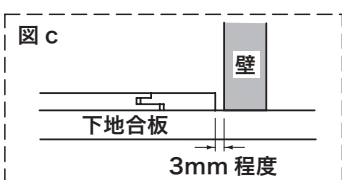
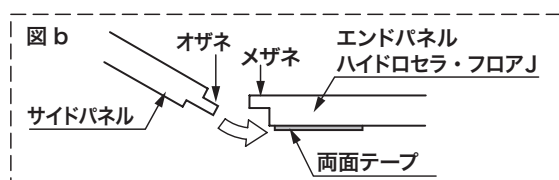
- ハイドロセラ・フロアJとの継ぎ目部はシールの必要は、ありませんが、目隙ができた場合、シリコンシーラントで処理してください。

サイドパネルの接着剤塗布位置



垂直に150mm間隔で打ち込んでください。

5mm



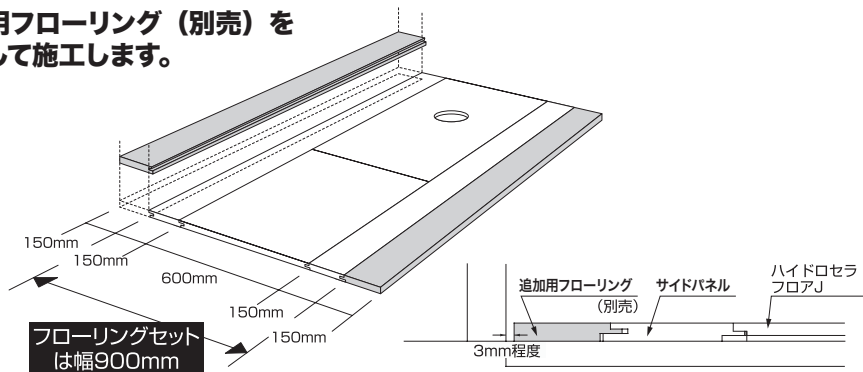
注意

- ・サイドパネルと壁と隙間を3mm程度あけること。（幅寄せできなくなります。）

11

間口 903mm 以上の場合

追加用フローリング（別売）を使用して施工します。



注意

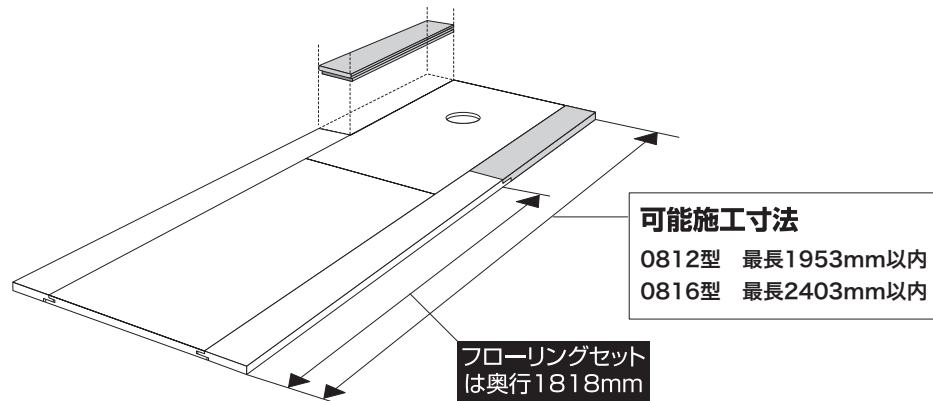
- ・サイドパネルの幅は、カットしないこと。（施工ができなくなります。）

- ・追加用接着剤を発注してください。（酢ビ系接着剤は使用不可）
- ・幅木が不足した場合、追加用幅木を発注してください。

奥行き 1821mm 以上の場合

追加用フローリング（別売）を奥側に継ぎ目がくるように施工します。

- ※追加用接着剤を発注してください。（酢ビ系接着剤は使用不可）
- ※幅木も必要に応じて追加発注してください。
- ※幅木にも継ぎ目ができます。

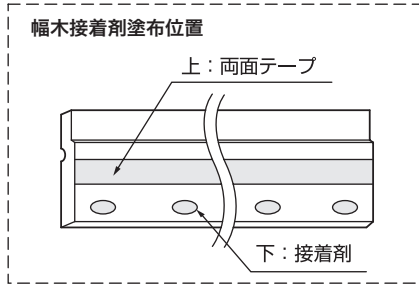
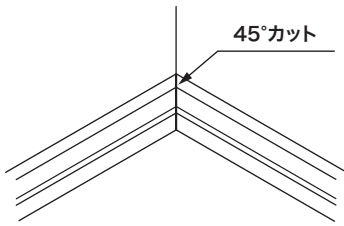
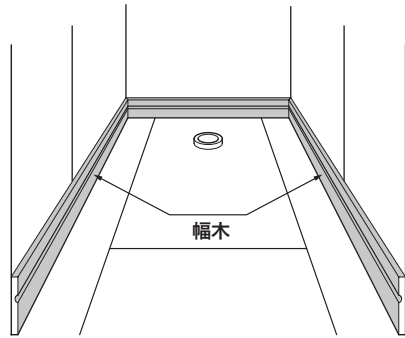


可能施工寸法	
0812型	最長1953mm以内
0816型	最長2403mm以内

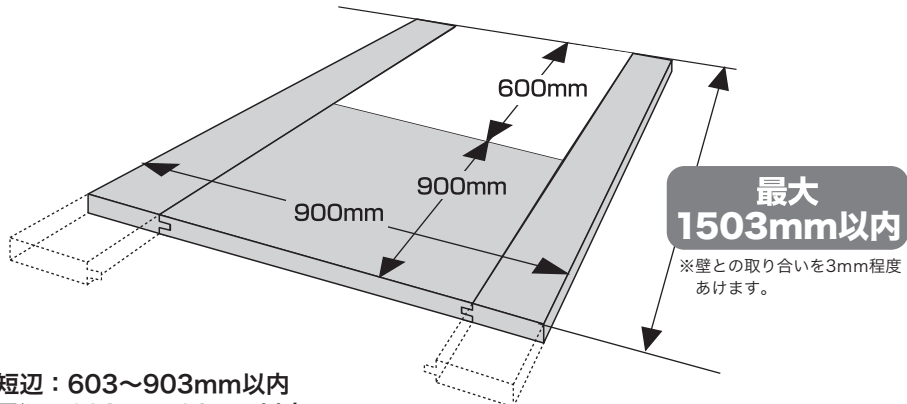
12

③ 幅木の施工

- トイレに合わせて、
- 幅木の長さをカットします。
 - 接着剤を塗布します。(直径 5mm の線状)
 - 裏面にはられている両面テープの離型紙をはがし、しっかり壁に固定します。
 - コーナー部は 45°カットしてください。



小便器用もフローリングセットと組み合わせることが可能ですが
対応可能空間に注意!



短辺：603～903mm以内
長辺：603～1503mm以内

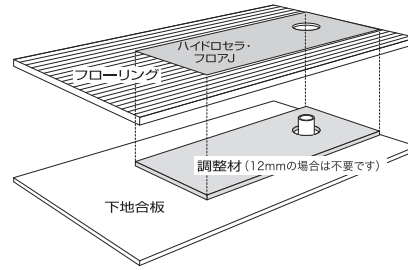
※短辺方向は、追加用フローリングの使用により903mm以上に対応可能。
※長辺方向で1503mmを超える場合は、大便器用セラミックパネル(排水管用穴あけは特注加工対応)を使用することで、最大2403mmまで対応可能。

13

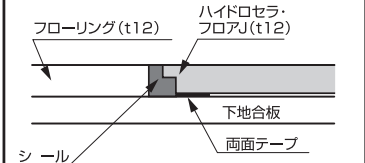
専用フローリングセット以外の部材とはり合わせる場合

市販フローリングとの組み合わせの場合

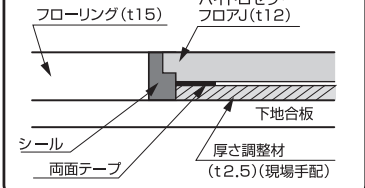
フロアJの下地側で厚さの調整を行います。(12mmの場合は不要です)



●フローリング (12mm) の場合

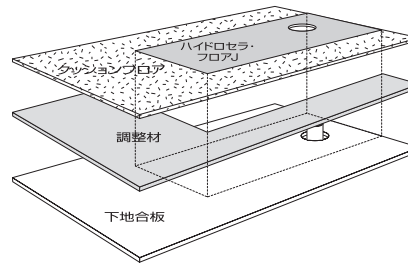


●フローリング (15mm) の場合

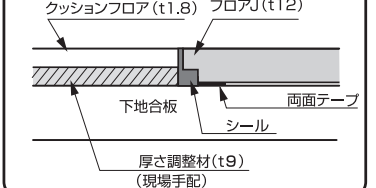


クッションフロア材との組み合わせの場合

クッションフロアの下地側で厚さの調整を行います。



●クッションフロア (1.8mm) の場合



注意

- ・ハイドロセラ・フロアJとの継ぎ目部の段差をなくすこと。(汚れの原因となります。)
- ・ハイドロセラ・フロアJとフローリング、クッションフロアとの継ぎ目はシリコンシーラント処理をすること。(「シミ」汚れの原因となります。)
- ・厚さ調整用の合板に化粧合板を使用しないで下さい、ハイドロセラ・フロアJと接着不良を起こす原因となります。

14

便器の取付けについては、便器取付部材に同梱されている施工説明書をご覧ください。

<メモ>